

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	7	権利擁護制度に関して、しっかりとすべてを把握出来ていなかった為積極的に、発信していなかったところがあった。	まずは、簡単なパンフレットを用意(26年10月に姫路自治福祉会館にて成年後見人に関する課出来る)し活用できるように、難しいと構えず利用者様の家族様目線で伝えられる様にする。	パンフレット・リーフレットなど用意する。 解らないところは、調べる。 施設内で勉強会を行う。 運営推進会議などで、地域の方、家族様に発信していく。	7ヶ月
2	16	過去1例の看取りの時と職員も変わり死というのが、身近で起きていてもほとんどが病院という施設の中で進んでしまい過程を見る事も無く、不安が先走っていた。	看取り・死について同じ価値観を持つ。 看取りが特別のものでは無いという意識を持つ	看取り(ほおずき16施設内)の勉強会の内容の周知徹底。 カンファレンスや勉強会での死・老衰・看取りについての意見交換。	6ヶ月
3	17	ほおずき姫路高岡だけの避難訓練は定期的に行っているが、消防署が近くにある為 地域の避難訓練などは無く、3階建てという立地条件の中、認知症高齢者、車イスの方、シルバーカー利用の方もおられ階段となると不安がある。	地域の方々を巻き込んだ避難訓練が出来る。月1回の定例会議で状況にあった避難誘導の確認。	運営推進会議で地域のかたの避難訓練の参加などの、協力を要請する。 車イス・シルバーカーなど個々の状態を把握して話合う。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。